

寺崎組新聞

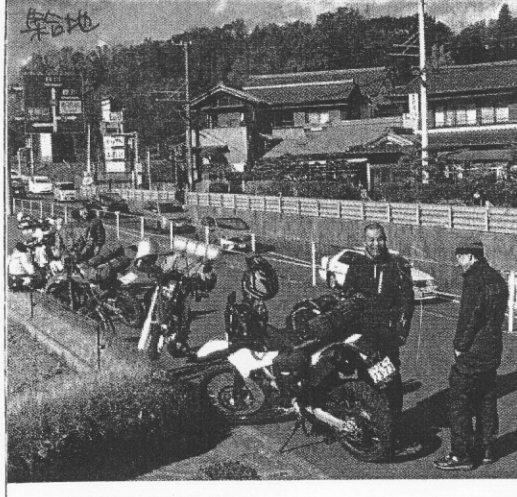
第三百四十四号

十一月恵那組会報告 組長は何をポチったの だろうか??

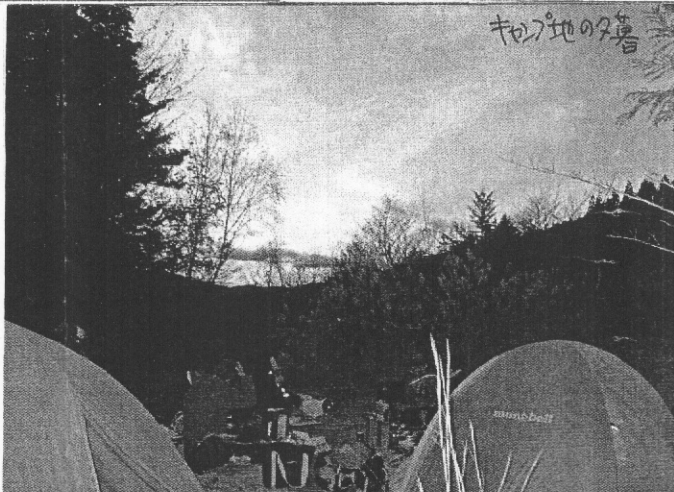
179回組会報告

今回の組会は山田石油さんから手に入れた新しい中古車、XLR125Rで向かう。まだ手に入れて2週間ほどだが、急ピッチでオフロードタイヤに履き替え、各部点検、調整、磨きを行う。近所を2、3キロしか乗っていないが良い手ごたえだ。バイクに体も直ぐ馴染むであろう。XLR80の時のように装備を軽量化することなく、通常の装備のままだ。むしろ冬装備なのでいつもより荷物が多いがどこまで走って流れるか楽しみ。この3日間は寒気が流れ込み、例年より厳しい寒さとのこと。なので今まで履くことなく持っていたモンベルのオーパーパンツを初めて履いていくことにした。

いつもなら家から2時間半かかるのに2時間、十一時半に到着。一番乗りだ。振り返れば今回の組会で丸4年。早いものだ。などと考えていると組長XLR到着。浜松に軽トラをデポしてあり、帰りにポチッたバイクを載せて帰るらしい。その他諸事情もあり明日の昼までとのこと。そんな話しをしていると地下鉄さんWR、ゴ三浦さんDR、カバさんKTM、オガタさんJゼル到着。今回は6名のようなだ。



天気はサイコーの肌寒い中、十三時出発。間髪いれず、組長の後ろに着く。今回の課題は組長の後ろであってラインを見ず、自分で考えたラインで着いていくのが目標だ！K72から岩山周辺を走り、組長も初だという遠く根林道で再びK72へ。そこからいつものAコープラピアにて買い出し。K408から再び林道へ。下りのガレに加えガケ崩れ、越えた先は廃道化しておりUターン。自分がはバラの木に体を持って行かれ踏ん張るも立ちゴケ。カバさん、組長に助けを求めらるも組長、ザックの重みで後ろにゴロン！上でもUターンのためてんやわんやの騒ぎ。ここで本日のイベント終了！Uターンの宿地となりました。



陽が入るとグングン気温が上がり、たまらず焚き火開始。今夜は満月が凄く綺麗で風もなく、サイコーな野宿日和。組長が何をポチったかクイズで盛り上がった。いつものように一足先に寝た組長が珍しく起きてきたりして、皆順調に酔っつてくる。オガタさん、酒が無くならないで隠し酒の話になるも、持っている事がない事判明。皆に責められる。地下鉄さんに2杯飲んで酔っつて、この寒さだとマジで凍死するので、ペロン

ペロンのオガタさんをゴ三さんと一緒にテントへ連れていきシュラフに入れたところでお開きとなりまし



二日目朝。霜ピッシリ、「凍つてるで！」あのセリフが自然と出てくる。寒いのでキャブ車はしつかり暖そう。記念撮影も終え出発！組長とは屋までだ。二ツ森山、岩山周辺をグルグル走る。この辺は支線が多く、一日中走っていられそう。今回のXLR125、キャブが加速ポンプ付の少し大きいキャブで、それに合わせ吸気ダクトがXR200用に更替されている。そのおかげでノーマルは上が回らないらしいが良く伸びる。以前乗っていたXT125より全域に渡ってパワフルだ。250の時に変わらないう荷物でこれだけ走れば上等かな？足もセロー225より良く動いているようだ。欲を言わなければ十分で原付二種好きな自分にはちよつと気に入ってしまったのだ。



見晴らしの良い場所で小休止。再出発するも組長のエンジンがかからない。キックキックキック・・・！かからない。ステップにのり再びキックキックキック・・・ブーン！かかった！その苦勞、お察しいたします。組長をも手こずらす恐るべしXLR250R。売れなかつたわけだ。無事走り出してしばらく、調子こいてたら落ち葉に隠れた石にはじかれフロントが浮いた！と思つたら左側面の土の力ベ&ミゾへ吸い込まれるように落ちた。コケた。またしてもカバさんに手伝ってもらい起こす。オマイガー！おろしたてのパンツに穴が！確かひらりんさんも去年恵那でおろしたてのパンツを破いたとか言っていたような。どうやらここは長野県民には合わない土質のようだ。(そんな訳はない)体は痛くないが心が痛い。そういえば昔バリ伝で新品のツナギはコケないようにならないうめ土を付けたとか言っていた。やり直して寺さんのラインなれば良かったのに」と言われた。ごもつともです。

今にも枯れそうな湧き水で水を汲み、いつもの広場で昼食タイム。ちくわぶを食べる組長。食べきれず地下鉄さん、オガタさんにおすそわけ。直後、組長何故かポリタンを持ち土手のほうへ。戻ってくるなりポリタンと「戻した」。組長まさかのリバーさだ！青ざめる地下鉄さん、オガタさん。「もう食っちゃったよ！」二人の悲鳴がこだましたような気がした。組長はこれがきっかけで二度とちくわぶは食べられない体質になったらしい。ここで浜松へ行く組長、カバさんとはお別れ。カバさんは組長ともう一泊。ここからは私の先導で地下鉄さん、ゴ三浦さん、オガタさんともう一泊するため伊那へと向かう。

自分だけリザーブに入ったので木曾福島で給油。9Lタンクで5Lしか入らなかつた。4Lも残つてたのか！権兵衛トンネル経由で伊那入りし、スーパーニシザワで買い出し。燃料を入れるため、インター下のセルフへ。地下鉄さん、ゴ三浦さんは順調に燃料を入れていたが、ふと見るとオガタさんがバイクにまたがったまま下を向いて動かない。どうしたのだオガタさん！しかしよく見るとバイクからおりに給油しているではないか！凄く！初めて見た。オガタさん曰く、「いつもそうだよ」考え、自分が当初目的地に目論んで

いた場所は標高が高いうえ、インターからも少し時間がかかるのでインターまで自分の山に急遽変更。思い切り地元だ。昨日の晩のごとく、焚き火してわいわい、最後はまたゴ三浦さんと2人でオガタさんをシュラフに入れお開きとなった。

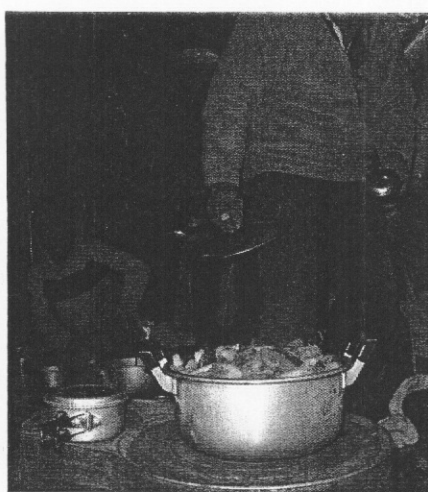
次の日は皆さん伊那インターから高速で帰宅。自分は解散してから十五分後には家に着いていたのだった。今回、寒さで体の心配もあったが大丈夫だった。これなら今年は十二月の小武川も泊りでいけそう。その時はまた皆さんよろしくお願ひします。

179回組会報告

小武川宴会

赤い鍋!!

あふれろ!!



峠のわが家的
薪ストーブ小武川
奥に見える。



最終日。
薪ストーブ小武川は
かたすけられ
る寒風には
地下と管理人は
さらされることになり

